

# 平成24年度事業計画

## 1.はじめに

昭和56年7月1日に設立された社団法人鳥取市シルバー人材センターは、平成24年4月1日に公益社団法人鳥取市シルバー人材センターとして新たにスタートしました。

公益法人制度改革における公益性の判断はきわめて厳しく、「公益社団法人」の認定を受けることで、これまで以上に事業の公益性及び法人としての健全性が確認されたこととなり高い社会的な信頼を得ることができます。

しかし一方で、地域社会に対する公益性のある事業活動、適正な財政運営、社会に対する情報開示など、従来の法人運営より一段と厳しい公益社団法人としての様々な要件が求められることとなります。

長引く景気の低迷、大幅な補助金削減等によるきわめて厳しい財政状況の中、シルバー事業を自立した事業として今後益々発展させていくためには、就業機会の拡大による事業量の増加を図り、事務費収入の確保を基盤とする自主財源の確保に努めるなどして、財政基盤の安定強化に取り組む必要があります。

この公益認定を契機として、お客様と直接接する会員ひとり一人が今まで以上に親切、丁寧で質のよい就業に努め、地域社会からの一層の信頼を得ることで、受注の拡大につなげていきたいと考えています。

今年度は公益社団法人として初年度となります。

会員及び役職員がそれぞれの立場で役割を再認識し新制度に対する意識を高め、地域社会から信頼される公益社団法人として、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、高齢者の希望や知識、経験を活かすことのできる就業機会の確保・提供に努めるとともに、ボランティア活動等の地域社会参加活動を積極的に推進することにより、高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図りながら、活力ある地域社会づくりに貢献するため、次の事業に取り組んでいきます。

## 2.基本方針

- (1) 高齢者に適した就業機会の確保及び提供を行う。
- (2) 高齢者の就業に必要な知識及び技能を付与するための講習を行う。
- (3) 高齢者の生きがいの充実及び社会参加の推進を図るために必要な事業を行う。
- (4) 高齢者の多様な就業機会の確保及び地域社会、企業等における高齢者の能力の活用を図るために必要な事業を行う。
- (5) 組織の活性化と運営体制・財政基盤の強化を図る。

## 3.事業実施計画

### (1) 就業機会提供事業

#### ①雇用によらない就業機会の提供

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、高齢者にふさわしい地域に密着した仕事を一般家庭、民間企業及び公共団

体等から有償で引き受け、能力、希望等に応じて請負または委任という形式で就業機会の提供に努める。

また、今年度は鳥取市営鳥取駅高架下第1、2自転車駐車場（駐輪場）に指定管理者として指定され4年目になる。高齢者の知識・経験等を活かした施設の管理運営、利用者サービスの向上及び経費の節減に努め「お客様から親しみを持たれる自転車駐車場」をめざす。

## ②雇用による就業機会の提供

### ア 無料職業紹介事業

雇用による臨時的かつ短期的な仕事又はその他の軽易な業務に係る求人を受け付けこれらの仕事を希望する高齢者に、無料の職業紹介による就業機会の提供を行う。

### イ 一般労働者派遣事業の受託業務

鳥取県シルバー人材センター連合会との委任契約による一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）を行い、事業所との連絡調整及び派遣就業を希望する会員へ就業機会の提供を行う。

## (2) 研修・技能講習事業

シルバー事業の基本理念及び仕組み等に対する理解を深めるための研修会の開催及び就業に必要な技能や知識を習得するための講習会を開催し、技能向上を図る。

## (3) 安全・適正就業推進事業

高齢者の就業にあたっては、安全就業が基本であり、事故防止対策には組織をあげて取り組む必要がある。高齢者が安全かつ適正に就業できるよう自己管理能力を養うとともに安全就業対策の徹底及び就業形態の適正化を図り事故防止に努める。

## (4) 普及啓発事業

地域社会にシルバー事業を広くPRすることにより、就業等を通して社会参加を希望する高齢者に対する入会の促進をはかるとともに、地域社会にシルバー事業が正しく理解されるよう普及啓発活動を積極的に行う。

## (5) 就業分野の開拓・拡大事業

一般家庭、民間企業及び関係団体等に高齢者の就業について社会的意義の理解を求めるとともに、地方公共団体との連携を深め高齢者の希望に応じた多様な就業機会の開拓に努める。また会員ひとり一人が就業開拓に取り組むなどし、会員の運営参画による就業機会の拡大に努める。

## (6) 福祉家事援助・子育て支援事業の推進

高齢者が長年培ってきた豊かな経験と知識を活用し、地域社会の要望を踏まえながら地方公共団体と連携した地域密着型の事業を展開し、地域社会に貢献する。

## (7) 社会参加活動推進事業

社会参加の推進を図るため、地域班組織が中心となりボランティア活動を行うとともに就業することに加え社会奉仕活動にも積極的に参加し、地域社会に貢献する重要性について個々の会員の意識の啓発に努める。

## (8) 調査研究事業

事業実績等各種データの集計及び分析を行うとともに、発注者に対するサービス内容の改善及び新たな就業機会の開拓のための調査研究を行う。

## (9) 相談、情報提供事業

入会を希望する高齢者のため毎月2回入会説明会を実施するとともに、就業に関する相談及び定年後の就業や社会参加を希望する高齢者のための情報提供を行う。

また、用瀬取次所を活用して地域住民への情報提供や地域活性化のためのイベントを行うなどしてサービスの向上に努める。

## (10) 組織の活性化と運営体制・財政基盤の強化

### ①理事会、専門部会及び各委員会等

公益社団法人としてシルバー事業の適正かつ円滑な運営を図るため、理事会をはじめ専門部会及び各委員会等の活発な活動と機能充実に努める。

### ②地域班・職群班活動

会員相互の連帯意識の高揚、就業面での協調性及び就業ルールの徹底を図るために重要である地域班、職群班活動が活性化するよう会員意識の高揚と班会議への出席率の向上を促す。

### ③事務局体制の強化

事務局は、高齢者の就業意向や発注者からの仕事の依頼など、重要な情報が集まる場である。発注者や高齢者の期待に応えるため、職員が自らの使命と役割を再認識し課題の解決に取り組むとともに、各種研修会にも積極的に参加し効率的な事務処理と事務能力の向上に努める。

### ④安定した財政運営の推進

センター運営費の大半は鳥取市と国からの補助金であるが景気の低迷、補助金削減等により財政状況は厳しさを増している。自主財源を確保するため受注拡大による事務費収入の確保と、事務機能の効率化及び必要経費の見直し等を行い安定した財政運営に努める。

また、公益社団法人として適正な事業支出に努める。